

3.1.6 研究開発ネットワークユニット

中期計画期間全体

目 標

研究開発ネットワークユニットは、研究開発ネットワークを基盤に、ネットワーク運用者と研究者の連携や交流を通して、優れたネットワーク技術開発やアプリケーション技術開発を促進することを目的としている。

目標を達成するための内容と方法

JGN II の構築段階から旧 CRL と旧 TAO は協力して進めてきた。JGN II は 2004 年 4 月 1 日に運用開始したが、このための回線は旧 TAO、機材は旧 CRL が調達し、また、日米回線においては旧 CRL が参加していた TransPAC としてインディアナ大学との協力体制を活用した。

JGN II がスタートした後は、旧 CRL の研究者は JGN II を利用して種々の研究を進めており、その際にはネットワークを運用しているテストベッド推進室と同一組織内として連携を取って実施している。

また、ネットワークの運用や外部の研究者（特に外国）との対応についても、旧 CRL の研究者とテストベッド推進室が共同の体制を取って運営している。

今後ネットワーク運用者と連携し、運用の円滑化を行うとともに、ネットワーク運用者と研究者の連携や交流を通して、優れたネットワーク技術開発やアプリケーション技術開発を促進する。

